

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

お ん ね な い

月刊 温根内 通信

—— 2024 年 10 月号 No.337

10 月 15 日（火）発行 ——



旅立ちを前に

この時期らしい冷え込みとなり、温根内では初霜が下りました。

そんな朝、木道周辺は意外にも鳥たちが賑やかでした。今は鳥たちにとっては渡りの時期。この日は、旅立ちの前にと姿を見せてくれたのか、ホオジロ科のオオジュリンとアオジがよく出てきてくれました。

彼らも直に南へ渡っていき、来年までのお別れとなります。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた自然（9/15～10/14） ☆☆☆



【オオバセンキュウ】

セリ科 大葉川弓

湿原内のセリ科植物の中で最終盤に咲きます。大きいものは人の背丈ほどもあり、存在感があります。



【コガネギク】

キク科 黄金菊

ミズゴケ湿原の花の時期に終わりを告げる植物。花の付き方にはかなり個体差があります。



【エソオオヤマハコベ】

ナデシコ科 蝦夷大山繁縷

霜の下りる日でもしぶとく咲いていました。裂けていくつもあるように見えますが、花弁は5枚です。



【イケマの実】

キョウチクトウ科

オクラのような実は花の形からは想像もできない姿です。茶色く色づく割れ、中から種子が出てきます。



【エソアカガエル】

アカガエル科 蝦夷赤蛙

産卵時期以外に見かけることはあまりありません。これから水中や倒木の下で越冬します。



【ルリボシヤンマ】 ヤンマ科

湿原を舞う大型のトンボ。秋が深まるとヨシなど止まる時があり、じっくり観察できます。瑠璃色の模様は目を釘付けにします。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた野鳥（9/15～10/14） ☆☆☆

野鳥たちにとって渡りの時期を迎え、いろいろな種が確認されてきています。上空を通過して行くヒシクイやオオハクチョウ、茂みに隠れるクロジなど、見え方もいろいろです。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸し出しております。



【ウグイス】 夏鳥

ウグイス科 鶯

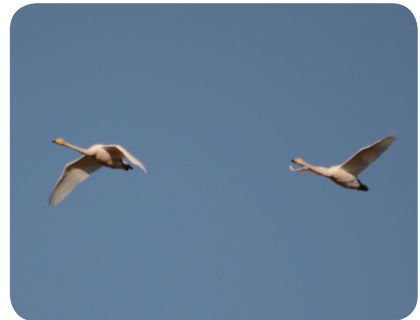
夏の囀りとは程遠い「ジャッ」という濁った声で茂みを移動します。もうそろそろ南へ渡っていきます。



【ダイサギ】 旅鳥・夏鳥

サギ科 大鷲

アオサギと行動をともにしていました。近年、道内でも確認数が増えてきているようです。



【オオハクチョウ】旅鳥（一部越冬）

カモ科 大白鳥

越冬のため南へ渡る旅鳥です。「フォ・フォ…」の音が季節の変わり目を告げます。

○温根内木道周辺で観察された花と鳥（9/15～10/14）

花（和名は五十音順 *外来種）	23	サワギキョウ	鳥（和名は日本鳥類目録第8版の順）	23	ハシブトガラス
1	アキノウナギツカミ	24	シロツメクサ*	1	ヒシクイ
2	アメリカセンダングサ*	25	ススキ	2	オオハクチョウ
3	イヌタデ	26	セイヨウタンポポ*	3	ヒドリガモ
4	イヌトウバナ	27	タニソバ	4	マガモ
5	ウメバチソウ	28	チドリケマン	5	オナガガモ（10/13 温根内初確認）
6	エゾイヌゴマ	29	トウヌマゼリ	6	エゾライチョウ
7	エゾイラクサ	30	ドクゼリ	7	キジバト
8	エゾオオヤマハコベ	31	ナガバノウナギツカミ	8	クイナ
9	エゾゴマナ	32	ナガボノシロワレモコウ	9	タンチョウ
10	エソトリカブト	33	ナギナタコウジュ	10	タシギ
11	エソヤマアザミ	34	ハナタデ	11	アオサギ
12	エゾリンドウ	35	ハンゴンソウ	12	ダイサギ
13	オオバセンキュウ	36	ヒヨドリバナ	13	ハイタカ
14	オオヨモギ	37	ヘラバヒメジョオン*	14	ハイイロチュウヒ
15	カタバミ	38	ホソバアカバナ	15	トビ
16	クサフジ	39	ミソガワソウ	16	オジロワシ
17	クルマバナ	40	ミソソバ	17	ノスリ
18	コウゾリナ	41	ミツバフウロ	18	コゲラ
19	コガネギク	42	ヤナギタウコギ	19	アカゲラ
20	コハコベ	43	ヤナギタンポポ	20	オオアカゲラ
21	コメツブウマゴヤシ*	44	ヤネタヒラコ*	21	モズ
22	サラシナショウマ	45	ヨシ	22	ハシボソガラス

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆☆ 自然ふれあい行事が開催されました ☆☆☆☆

○「ザリガニウォッチング2～ニホンザリガニ編～」

10月6日 参加者：16名 講師：照井滋晴（NPO法人PEG）

館内でまずニホンザリガニや他のザリガニの特徴の違いや、昔は温根内にもニホンザリガニがたくさんいたことなどを教わり、鶴居軌道の水辺へ探索に向かいました。本日の講師である照井氏が立ち止まった所でたも網で泥ごと掬い、よく見てみると、ザリガニ以外のヤゴやトゲウオの仲間が見られました。さらに奥に進み、今度は落ち葉が見られて流れが穏やかな所で同じように網で掬うと…この日の第1号となるニホンザリガニを発見！また、水辺に目を凝らすと歩いているのがわかる個体もいて、その後もコツを掴んだ参加者たちが次々と見つけ、この日は過去最高を更新する8尾を確認しました。大きさ5cmほどの大人サイズの個体から、幼体と思われる個体まで、様々なサイズのニホンザリガニが見つかり、無事ここで繁殖していることも確認することができました。



☆☆☆ 番外トピック 又マオロ川市民調査に参加してきました！ ☆☆☆

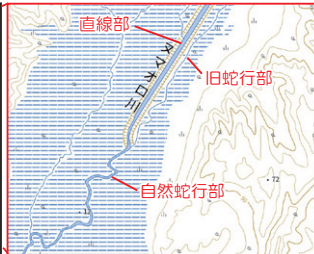
10月12日、釧路国際ウェットランドセンター主催の市民参加調査が開催され、技術委員として参加してきました。釧路湿原北部には又マオロ川という川があり、ここでは直線化された河川部分を蛇行河川に復元する試みが計画されています。川が本来の流れに戻ることで、自然環境がどう変化するかを市民の方々と継続調査しま

す。今回はおもに、自然蛇行部分に生息する絶滅危惧種の二枚貝、カワシンジュガイの生息数調査を行いました。今回の調査域では個体数は限られていましたが、流路が切り替わることで、自然蛇行部や復元蛇行部に今後どう分布を広げていくのかが楽しみです。

個人的にはカワシンジュガイをじっくり見るのは今回が

初めてで、手に持った時のずっしりとした重さがとても印象的でした。生態などについては初めて知ることも多く、大変興味深い調査でした。今後も継続的に調査をし、周辺環境を含めて見守っていきたいと思います。川底にカワシンジュガイがたくさん見つかるようになるといいですね！

(温根内 VC 指導員 藤原伸也)



☆☆☆☆ イベントのご案内 (11月) 事前の申し込みが必要です ☆☆☆☆

申し込みは開催日の1か月前から受け付けています

○ 自然ふれあい行事 ⇒お申し込み☎0154-65-2323

♪ 初冬の植物を見に行こう

〔日時〕11月10日(日) 10:00～12:00

〔定員〕15名(小学生は保護者同伴) 〔参加費〕無料 〔場所〕温根内ビジターセンター
これから厳しい冬を迎える湿原。植物たちはどのような戦略で冬を乗り切るのでしょうか。

♪ クリスマスリースを作ろう

〔日時〕11月24日(日) 13:00～15:00

〔定員〕15名(小学生は保護者同伴) 〔参加費〕¥500(材料費)

〔場所〕温根内ビジターセンター

もうすぐクリスマス。自然の素材を使ってオリジナルリースを作成しましょう。



○ 塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと) ⇒お申し込み☎015-487-3003

♪ クリスマスリースを作ろう

〔日時〕11月25日(土) 13:00～15:00

〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕500円(材料費)

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

～開館時間が変わります～

11月1日より当センターの開館時間が9時～16時までとなります。24時間開放していたトイレも16時の閉館をもってご使用できなくなりますのでご注意ください。

日の入り時刻も早まってきていますので、時間に余裕をもって散策をお楽しみください。

月刊 温根内通信 No.337

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@kushiro-shitsugen-np.jp

ホームページ: <http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>

Facebook: 温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間: 9:00～17:00 (11月～3月は16:00まで)

休館日: 毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料